

上越市、五〇〇〇万円規模で三回目の住宅リフォーム促進事業実施へ 「小規模事業者への波及効果はまだこれから」と判断

朗報です。上越市は先月26日、追加経済対策を発表し、そのなかで住宅リフォーム促進事業については、9月定例議会で3300万円を増額補正し、追加募集を行うことを明らかにしました。

上越市はこれまで2回にわたって同事業を実施してきました。担当課によると、「事業の実施で一定の経済効果があったが、小規模事業者への波及は十分ではない」とし、「もう一段の効果を生みだすよう追加募集」を行うとしています。

追加募集の申請応募額は、今回の補正額3千300万円に、震災特別枠分の残額を加えて、5000万円。補助額は10万円を限度とし、補助率は対象工事費の20%。受付期間は10月17日から10月31日まで。ただし、予算額を超えた場合は、抽選で交付者を決定することになっています。

補助対象となる主な工事はこれまでと同じ



内装工事の現場を見る橋爪



吉川高等特別支援学校正面玄関

で、外壁の張替・塗装、屋根のふき替え・塗装、内装工事、建具の改修・設置、給湯器の設置・交換、防水・防音工事などです。

住宅リフォーム促進事業の追加募集については、日本共産党議員団が民主商工会などとともに求めてきました。関係業者のみなさんは喜んでくださることでしょう。

安心して通える通学バスを 通学手段で悩む特別支援学校関係者

県立吉川高等特別支援学校に1年生が入学して6か月目に入りました。生徒たちは学校での授業で頑張るとともに吉川区体育祭や越後よしかわやつたれ祭りなど地域のイベントにも積極的に参加し、地域にとけこもうとしています。

こうしたなかで、保護者など学校関係者から通学手段の確保や職業学習のための実習先の確保、卒業後の就労先などの問題について訴えが出ています。

そのひとつ、通学手段については切実です。現在、公共交通機関を利用するのは、5名の生徒が通学していますが、片道1時間以上もかかっています。秋から冬に向かう中で、降雪や風による電車の遅れ・運休も心配です。

関係者のみなさんからは、「学校は県立なので県が対策を講じることが基本だと思うが、なかなか厳しい。小出、駒林、五泉、月ヶ岡の特別支援学校では、市や町が補助金を出し、保護者と協力して通学用バスを運行している。吉川高等特別支援学校でも支援してほしい」という声が上がっています。



吉川区大乘寺にて

9月5日から定例議会

平成22年度決算が審議される9月定例議会が始まります。詳しい議事日程は下記の通りです。
会議開始時刻はいずれも午前10時。ぜひ傍聴においで下さい。

月日(曜)	会議名	会議室名	備考
5日(月)	本会議	議場	提案説明 総括質疑
6日(火)	本会議	議場	総括質疑
7日(水)	建設企業委員会	第1委員会室	樋口議員 担当
8日(木)	建設企業委員会	第1委員会室	
9日(金)	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員 担当
12日(月)	文教経済委員会	第1委員会室	平良木議員 担当
13日(火)	厚生委員会	第1委員会室	
14日(水)	厚生委員会	第1委員会室	
15日(木)	総務委員会	第1委員会室	橋爪 担当
16日(金)	総務委員会	第1委員会室	
20日(火)	予備日	第1委員会室	
21日(水)	本会議(一般質問)	議場	
22日(木)	本会議(一般質問)	議場	
26日(月)	本会議(一般質問)	議場	
27日(火)	本会議(一般質問)	議場	
28日(水)	本会議(一般質問)	議場	
30日(金)	本会議	議場	付託案件 採決



NO 1517
2011.9.4

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 025-548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

「足谷」がまた雨にやられて元気をなくしているようだ。見舞いに行こう。そう言いだしたのは習志野市のエツオちゃん、私の従弟です。エツオちゃんは先日、埼玉県入間市に住む従妹のトモコちゃんとともに上越市大島区まで足を運んでくれました。

大島区は七月三〇日の新潟・福島豪雨で大きな被害をこうむりました。「足谷」というのは足谷という所に住んでいた従兄、アイジさんのことです。稲作を中心に農業を営んでいますが、六年前の梅雨前線豪雨で農地が土砂に埋まりました。昨年は干ばつ被害で打撃を受け、今年こそはと張り切っていたところで、再び農地に大量の土砂が流れ込んだのです。がつくりしたのは言うまでもありません。

エツオちゃんとトモコちゃんが関越道を車で走らせてやってきたのは八月下旬の土曜日でした。二人は被災した足谷の田んぼを見て、大島区の親戚三軒にも顔を出してきました。そして夕方には、この日の宿と決めている民宿の「伊作」に入りました。

「伊作」は二人のお気に入りの宿です。

じつは、この日、二人が出かけてきたのは豪雨災害見舞いのためだけではありません。初めての「いとこ会」を計画していたのです。これまで、葬式とか法事でもないかぎりみんなが集まることはありませんでした。「せつかくだから、いとこ同士でいっぱいやろさ」というのがエツオちゃんの提案でした。会場は「伊作」、急な企画でしたので、比較的交流の多い、いとこたち数人に声をかけて実現しました。

「いとこ会」は午後七時から。私は、この日、吉川区の山間部で法政大学米米クラブの「ゆい祭」があつて、「いとこ会」に合流したのは、午後七時半頃でした。すでにエツオちゃん、トモコちゃんのほか、アイジさんなど大島区在住のいとこのうち、三人が集まっていました。

私以外は、みんな酒に強い人ばかり。すでに生ビールや酒をかなり飲んでいたので。私が合流すると、いとこたちは、「よし、ノリカズも来たことだし、練習はやめて、これから本番だ」そう言つて乾杯をしました。木製の大きなテーブルの上には、魚の刺身、牛肉、カニなどのご馳走が所狭しと並んでいましたが、食べ物にはあまり手をつけず、話に夢中になりました。

「『のうの』(母の実家の屋号)の家に行つた時、玄関のそばに牛がいたでしょ。その隣に板を並べただけのトイレがあつたよね。あれつて、下の方で人間のものと牛のものが一緒になつていたんじゃないの」「五右衛門風呂にもびっくりしたわ。背中が風呂釜に当たると熱くて……」トモコちゃんが子ども時代に大島へ泊まりに来た時のことを語り始めてからは、昔話に花が咲きました。

「昔は直江津の駅で降りてき、それからバスに乗ってきたんだよ。帰りは『のうの』の伯父さんが大平まで送ってくれた」「千葉の家に行つた時、ハマグリと落花生、いっぱいもらったもんだ」「風呂場が薄暗くてさ、風呂の上の方に浮いたアカなんか、おかまいなしに顔を洗つたもんだこて」懐かしい話の連続に、いつもなら酒が入ると眠たくなる私も、眠気を催すことはまったくありませんでした。

たっぷり飲み食いして、最後は記念撮影です。私のデジカメで撮ることにし、「伊作」のお母さんに撮影をお願いしました。私から「はい、三ひく一は？」と言うと、いっせいに「一二」。撮れた写真は全員が笑顔、まるでキョウダイのような雰囲気が出ていました。

法政大の「ゆい祭」で一緒に演奏 大瀧、柿崎、吉川の太鼓

8月27日。法政大学米米（コメコメ）クラブのみなさんによる「ゆい祭」が吉川区の旧川谷小学校体育館で行われました。

「ゆい祭」は吉川区の川谷地区で野外学習をしている法政大学のグループのみなさんが、地区のみなさんの日頃の支援に感謝し、一緒に楽しむ祭りです。トン汁やお酒などが振る舞われ、じゃんけんゲームなどを楽しま



吉川区小苗代池にオニバスが今年も出ました。

ました。じゃんけんゲームのリーダーは女装が似合う学生さん。私はじゃんけんの最後のゲームで勝ち抜いて、この日、一番高価だという東京スカイツリーの手ぬぐいを手に入れました。

今回の注目は、太鼓演奏でした。吉川区の太鼓グループ、鼓舞衆のみなさんと大瀧区、柿崎区の太鼓グループが連携し、それに法政大学の学生のみなさんも加わっての演奏はもちろん初めてです。会場はこれまで以上に大きく盛り上がりました。

※この太鼓演奏の動画は、私のホームページで見ることができます。